パブロフの犬のような人間：関連性バイアス

関連性バイアスとは、人はあらゆる物事を関連させたがると言う意味です。

例えば、古代ペルシャ人は悪い知らせを持ってきた配達を殺すと言う事がよくあったそうです。その配達人が何かをしたと言う事では無くて、ただただ悪い知らせを持ってきたと言うだけなのに、配達人自身を悪と関連付けて殺したのです。

有名な話でパブロフの犬があります。パブロフさんと言う人物が自分の犬にメトロノームの音を聞かせて餌を与える。それを繰り返すと、あら不思議、メトロノームの音を聞くだけで唾液がダラダラと犬の口元から垂れるわけです。パブロフの犬はメトロノームの音を餌の時間と関連したわけです。

関連性バイアスが厄介なのは、例えば人間関係で、あなたが人として好きな人と人として嫌いな人が居たとしましょう。好きな人の言動に対しては、大抵の事は好意的に受け入れてしまうようになるのです。それは、好きな人の言動に対しても好きと言う気持ちが乗り移り、関連してしまうからです。そして、嫌いな人が何か良い事をしたとしましょう。そしたら、「何だコイツは、悪巧みでもしてるな」と思ってしまいがちなのです。

関連性バイアスを打破するためには、関連バイアスがあると言う事をまず理解して、このバイアスに洗脳されないようにすると意識するのが大事になってくるでしょう。

朝にコーヒー、映画鑑賞にポップコーン、そして食事にスマホ。良いか悪いか、あなたもパブロフの犬のように関連性バイアスの餌食になっているかもしれません。